6/1 区政報告会　高野之夫区長と大塚駅周辺のまちづくりなど対談

6/1（金）、南大塚ホールにて区政報告会を行いました。
多くの方にお越し頂き、感謝申し上げます。

私からは大塚駅周辺のまちづくりや、南大塚ゲリラ豪雨対策、新ホールなど池袋周辺のまちづくりなどを中心にご報告。

菊池章二大塚駅南北商店街連合会会長には、インタビュー動画でメッセージを寄せて頂きました。

その後、高野之夫豊島区長と対談形式にて、大塚駅周辺のまちづくりについてお話しをしました。

◆対談（高野之夫区長 × 細川正博区議会議員）

細川：大塚駅周辺整備事業はいよいよ佳境。これまでの取組みで特に大変だったところは

区長：現在ホテルベルクラシックになっているところに、葬祭場ができるという話しがあった。ここの開発で大塚はがらっと変わる。南北の方々がまちづくりに関心をもつ大きなきっかけになったと思う。

細川：これから北口の開発に入る。北口の開発のポイントは？

区長：南と北が一体にならなければ大塚の発展はないと思っている。

細川：北口には客引きの問題がある。環境浄化パトロール、照明の設置、客引きへの注意をする放送機器の設置など対策を講じる。池袋ではどう解決したか？

区長：街のイメージを払しょくするのは大変。地元の方々と 20 年以上環境浄化パトロールを行ったり、客引きやポイ捨て、路上の看板を防ぐ条例整備、警察との連携など。いたちごっこだが、粘り強く取り組むしかない。地元の方々の強い意識が大事。

細川：商業的な発展をするだけが大塚の発展の理想形ではないと考える。住みよい街と商業的な発展を両立させるまちづくりが必要。そういった観点をもって治安の対策をしていきたい。

細川：星野リゾート（OMO5）の進出についてどのように受け止めているか？

区長：リゾート地に進出するイメージだったので、最初に話を聞いたときには信じられなかった。大塚の街の調査を綿密に行った上で、都市型の新業態を試してみたいとのことだった。
OMO レンジャーの取組みなど、地元の方と一緒にまちづくりをやっていきたい、大塚の街を変えたい、という思いに感動。
地元の人ともっと連携を密にしていく必要がある。
その役割は細川区議にあるのでは。

細川：豊島区における大塚の役割が明確になる考えであるアフター・ザ・シアターについては。

区長：東アジア文化都市 2019、2020 年東京オリンピック・パラリンピック。海外からの観光客は東京に訪れて夜は寝るだけ、ということはない。
Hareza 池袋や東京芸術劇場などでの観劇後の受け皿を作るようなまちづくりが必要。
池袋は宿泊施設が進出する場所が限られる、大塚はその役割を担えるのではないか。安全安心な街とした上で、大塚は楽しめる街になると思う。
大塚駅北口は少し照明が暗い。光のファンタジー、といえるような明るい駅前にしたい。

細川：これは池袋と大塚の関係。大塚と巣鴨は直線距離で 1km にも満たない。
大塚と巣鴨の連携を深める取り組みを後押しして欲しい。大塚と巣鴨の関係は、散歩して回遊する谷根千のように出来ないかと思っている。大塚三業通りから巣鴨駅まで徒歩 10 分程度、巣鴨地蔵通りを抜けて庚申塚を左折すると折戸通り、すなわち大塚駅北口側へ抜けられる。

◆対談とそれを受けた一般質問を終えて

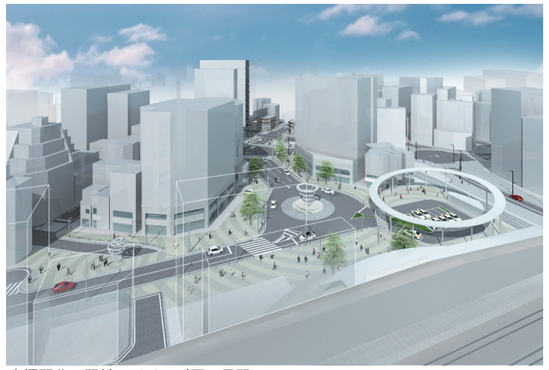
対談を通じ、大塚のまちづくりについて議論を深める事が出来ました。

大塚駅北口整備でキーワードとなったのが「アフター・ザ・シアター」と「光のファンタジー」です。この内容について、一般質問で区の考えを問いました。その中で明らかになったのは、前者は造幣局跡地整備を見据えた中長期的な構想であること、後者は大塚駅の新たなシンボルを作り出すアフター・ザ・シアターに繋がる布石であること。

対談や一般質問でも何度も触れましたが、住宅地が近接している大塚駅周辺は商業的な発展ばかりではなく、安全安心なまちづくりがなされなければなりません。

大塚駅北口の新たなイメージ図が公表されました。モニュメントの設置の他、歩道の拡幅や不要な車両通過動線の排除など歩行者空間の拡大、ロータリーの縮小、公衆トイレの移設、JR-都電間の屋根設置、自転車駐車場の再配置、交番脇の車道の一方通行化（新大塚方面→北口方面のみ。警察と協議中）と自転車走行空間確保などのポイントがあります。

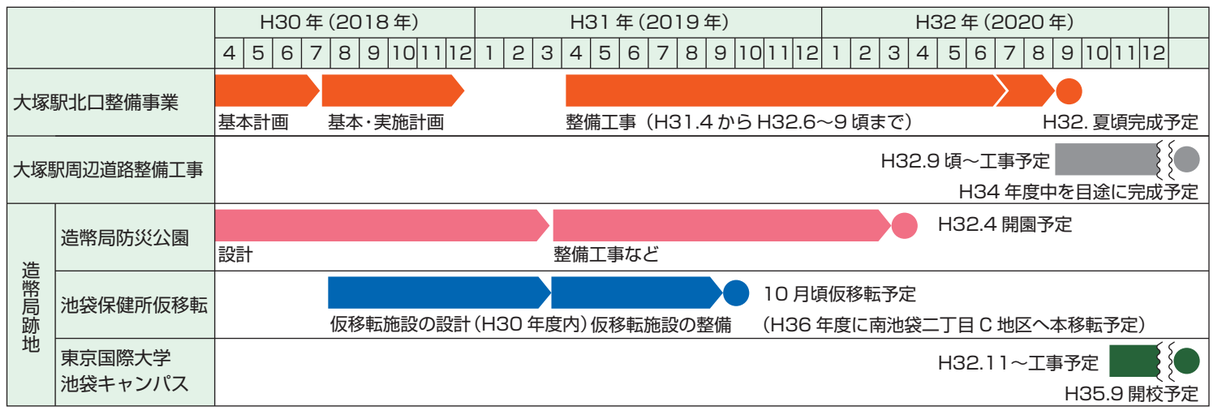
大塚の魅力をますます高める駅前整備となることを期待します。


大塚駅北口駅前　イメージ図　昼間

大塚駅北口駅前　イメージ図　夜間

菊池章二会長にインタビュー

菊池章二大塚駅南北商店街会長へインタビューを行い、大塚駅北口整備事業に掛ける思いを伺いました。

・大塚の歴史や北口と南口の関係について
⇒線路で分断されていたような格好で、南北自由通路が開通するまであまり交流が無かった
・OMO5 がオープンしたことへの受け止め
⇒お客さんを呼び込む仕組みをもっているのは凄い。商店街や町会との連携が大事だと思う
・折戸通りへ広がりを見せている。巣鴨との連携は
⇒大塚駅北口は歴史的な場所がないので、巣鴨方面への広がりは期待
・客引きが増えているように感じる
⇒リピーター獲得のためには客引きを防止するのは大事。ハード面とソフト面の取組みが必要
・北口整備計画に対する思い
⇒北口整備計画が終わると「北大塚元年」と言えるかもしれない。これまである思想をもってまちづくりをやったことがなかった。コンセプトをもった北大塚になる。

◆今後のスケジュール